



STEP 3 「音の壁」を確認 10分

- STEP 2 で書き取った英文を、下のスクリプトと照らし合わせて確認してください。間違えた箇所にはスクリプトに下線を引いておきましょう。
- スクリプトを見ながら音声を通して聞いて、1. で下線を引いた箇所を確認します。
- 右ページの「音の捉え方」を読んで、音声変化について理解を深めましょう。

STEP 4 「意味の壁」を確認 10分

- スクリプトと右ページの訳を見て、内容を把握します。意味が分からなかった箇所については、スクリプトと訳の両方を四角で囲みましょう。
- p. 028 の「語句解説」を読んで、語句について理解を深めましょう。



My name is Sumi Jones. I'm a physician who specializes in internal medicine, which is general medical care for adults. Most of the work I do is in a clinic where I am the primary care physician for patients. [01]

So, primary care physicians are the first type of doctor a patient will see if they have a problem or a symptom such as a fever or a cough. Often I diagnose and treat the disease myself, but if it's very complicated, or if it's a rare disease, sometimes I need to refer to a specialist, such as a heart or lung doctor. [05]

As a primary care physician, I also see patients in clinic for their regular yearly visits. During these visits, I examine the patient. I ask a lot of questions about their health and their lifestyle. I also try to identify any symptoms or problems that can be treated now in order to prevent a more serious problem later on. Also, the patient has a chance at this time to ask me questions, and they can tell me what is important to them regarding their health. [10] [15]



When I'm not working in the clinic, I work at the hospital nearby. The hospital I work at is a teaching hospital, where new doctors continue their training after they graduate from medical school. The hospital is a little more stressful because patients are sicker, but it is a good experience for me as well to continue to see patients both in the hospital when they are very sick as well as outside in the clinic when they are not. [20]

I like being a primary care physician because I get to see the same patients over many years of their life. I like being able to help them stay as healthy as possible as they can, so that they can enjoy their life as much as possible. [25]

音の捉え方

「音」「文字」「意味」を結び付けよう



英語の聞き取りを阻む壁は、大きく分けて「意味の壁(知らない語句なので聞き取れない)」と、「音の壁(音声変化やスピードに付いていけずに聞き取れない)」の2つです。今回は両方とも壁が高めでしたので、なかなか挑戦しがいがあったのではないのでしょうか。

意味の固まりで音がつながっている箇所が多かったですね。例えば、1行目の specializes in は、文字で見ると難しくはないのですが、in が直後の internal とつながって「スペシャライズィズィニターナウ」のように発音されているため、うまく認識できなかったかもしれません。聞き取った音を意味のある情報として理解するためには「音と文字」「文字と意味」「意味と音」を、きちんと結び付けることが非常に大切です。そのためにシャドーイングを行うわけですが、漫然と取り組むのではなく、それぞれを結び付けることを意識して、声に出しましょう。

意味の固まりを音で捉える

前半では「A or B」「A and B」という意味の固まりが、一息でまとめて発音されるというパターンがよく見られました。例えば、6～7行目の a fever or a cough や7行目の diagnose and treat というパターンですね。「必要な情報を全て伝えておこう」という話し手の思いの表れなのだと思いますが、このように似たもの同士の単語がひとつつながりになっても意味が取れるように、シャドーイングで頭と体にしっかり染み込ませてください。

また、15行目の ask me questions や24行目の I like being a primary care physician など、話し手が強調している部分にも注意して意味をくみ取りましょう。

訳 私の名前はスミ・ジョーンズです。私は内科医学を専門とする内科医で、内科医学とは、成人向けの総合的な医療のことです。ほとんどの仕事は診療所で行っていて、私はそこでは患者さんたちにとっての初期診療医となります。

それで、初期診療医というのは、患者さんが問題を抱えていたり、熱や咳などの症状があったりするとき、最初にかかる医師のことです。私自身が病気を診断して治療することも多いですが、もし病気がとても複雑なものであったり、珍しい病気だったりする場合、時には、心臓や肺の専門医といった専門家に問い合わせる必要があります。

初期診療医として、私は診療所で患者さんの毎年の定期検診もしています。こうした検診では、私は患者さんを診察します。彼らの健康や生活スタイルなどについて多くの質問をします。私はまた、後になってより重大な問題が発生するのを防ぐために、今のうちに治療できる何らかの症状や問題がないかどうかを見極めるよう努めています。それに、患者さんも、この機会に私に質問をして、健康についてどんなことが大切だと感じているかを話してくれます。

診療所に勤務していない日は、私は近くの病院で仕事をしています。私が仕事をしているのは医大付属病院で、そこでは、新人の医師たちが医大を卒業した後に研修を続けています。病院では、患者さんの病気がより深刻なため、少し緊張を強いられますが、症状の軽い患者さんを病院外の診療所で診ると同様、重症になった彼らを病院でも診続けるのは、私にとって良い経験になるのです。

私は初期診療医という仕事が好きです、それは、同じ患者さんを何年にもわたって診ることができるからです。彼らができるだけ健康でいられるように手助けし、その結果、彼らが人生を最大限楽しめるようにしてあげられることがうれしいのです。